



米国セラミックス協会に小久保 正賞 が新設されました

この度、アメリカセラミック協会は小久保正氏のバイオセラミックスの研究開発における卓越した功績に鑑み、American Ceramic SocietyのBioceramics Divisionに小久保正賞を創設することを決定しました。

本賞はバイオセラミックス分野での研究論文、特許、商業化への貢献、およびバイオセラミックス分野の認知度を国際的に高めた活動に対する貢献のあった45歳以下の個人に毎年授与されるものです。

小久保正教授は皆様もご存じの通り、京都大学、中部大学の名誉教授で生体活性ガラスやガラスセラミックスの分野におけるイノベーションの先駆者です。先生は動物実験を行わずに材料の生体活性評価を可能にする擬似体

液とそれを用いた評価方法を確立し、生体活性結晶化ガラスを用いた人工骨を開発されました。

擬似体液に関する原著論文は、トムソン・ロイター社により2010年の材料科学分野最多被引用論文として認められ、世界中の研究者がその情報を参考にした評価を行っています。また、日本電気硝子株式会社に製品化された生体活性結晶化ガラス：セラボーン®A-Wは多数の患者に使用されました。本賞の創設によりBioceramics分野で今後ますますの研究活動の活性化が期待されます。

詳細は、以下のWebページを参考にしてください。

<https://ceramics.org/awards/bioceramics-division-the-tadashi-kokubo-award>

略歴：

1962年4月 京都大学化学研究所助手
1987年4月 京都大学化学研究所新機能材料研究部門教授

2003年3月 京都大学名誉教授
2003年4月 中部大学総合工学研究所教授
2006年4月 中部大学生命健康科学部生命医学科教授
2014年3月 中部大学名誉教授

2002年9月～2006年12月 有限会社マイク
ロメディックス 代表取締役
2006年11月～2017年12月 アドバンスド・
メディックス株式会社代表取締役

受賞歴： 窯業協会進歩賞、窯業協会学術賞、日本バイオマテリアル学会賞、粉体粉末冶金協会研究進歩賞、日本化学会学術賞、井上春成賞、ヨーロッパバイオマテリアル学会ジョージ・ウインター賞、日本バイオマテリアル学会科学功績賞、日本無機リン化学会功績賞、アメリカセラミックス学会ストーリー発明講演賞、トムソン・ロイター社、材料科学分野最多被引用論文賞、Biomaterials誌2006-2010年最多被引用論文賞、日本セラミックス協会日本セラミックス大賞